



NATed Prime を使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの管理

- [NATed Cisco Prime Infrastructure を使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの管理 \(1 ページ\)](#)

NATed Cisco Prime Infrastructure を使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの管理

Cisco Catalyst 9800 ワイヤレス コントローラ デバイスを検出する場合、Cisco Prime Infrastructure が NATed の場合は、Prime Server の LocalHostResources.properties ファイルで Prime NATed IP を更新する必要があります。



(注) TAC サポートの助けを借りて、opt/CSColumos/conf/rfm/classes/com/aes/common/net/LocalHostResources.properties ファイルを変更する必要があります。これは、Prime バージョン 3.10.4 から適用されます。

1. ルートまたは管理者権限で Cisco Prime Infrastructure サーバーにログインします。
2. LocalHostResources.properties ファイルを編集し、以下のように Prime NATed IP アドレスで「PiNatIp」を更新します。

```
AddressTypes=ipv4
ManagementInterface=
PeerServerInterface=
ClientInterface=
HostName=
PiNatIp=XX.XX.XX.XX
```

3. ファイルを保存します。
4. ncs stop と ncs start を使用して、サーバーを再起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。